

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	個人番号カード関連事務			
担当部署・課長名	市民 課	市民 係	課長名	梶川 義夫

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現	施策番号	行 - 2	-
	総合計画書 (ページ)	122	

予算名	款 2	総務費	項 1	戸籍住民基本台帳費	目 1	戸籍住民基本台帳費	事業 4	個人番号カード交付関連事務
-----	-----	-----	-----	-----------	-----	-----------	------	---------------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市民	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 4月1日現在のマイナンバーカード総交付枚数
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 国の施策に則り、正確に個人番号カードの交付をおこなう。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) マイナンバーカードの所有者の割合(マイナンバーカード所有者数/4月1日現在の人口)
		③ そのために何をしましたか。 本人からの届出にもとづき個人番号カードの交付を行う。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 年間のマイナンバーカード交付枚数。

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	9,153	12,147	14,706	17,706	/
		成果指標	②の数値	%	10	14	17	21	/
		目 標	②の目標値						
			目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値	件	マイナンバーカード交付枚数 7,691件	マイナンバーカード交付枚数 2,994件	マイナンバーカード交付枚数 2,559件	マイナンバーカード交付枚数 3,000件	/	

3	経費	事業費(実績)		円	42,284,031	15,641,941	17,268,650	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財源	一般財源	円	22,610,031	5,798,941	3,898,650	
			特定財源	円	19,674,000	9,843,000	13,370,000	
			(うち受益者負担)	円	0	0	0	
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0	
			所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	16,534,000	16,506,000	16,488,000			
	職員人件費(再任用)	円						
	事業費+人件費	円	58,818,031	32,147,941	33,756,650			

この仕事における市の裁量	市の裁量は無い
--------------	---------

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成27年10月5日、行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が施行され、マイナンバーの運用が開始された。平成28年1月からマイナンバーカードの交付を開始した。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 マイナンバーカードの認知は広まりつつあり、ゆっくりと普及が進んでいる。

仕 事 の 内 容	個人番号カード関連事務			
担当部署・課長名	市民	課	市民	係 課長名 梶川 義夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	マイナンバーカードの有効性に疑問を持っている市民もいる。しかし、市外でのコンビニ交付など利便性は少しずつ高まっている。

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組みは無い	取組手法
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容
	マイナンバー制度の運用拡大によって業務が増加していく中で、誤った業務をすることなく迅速に処理していく。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。
	マイナンバー関連のサービスが充実していく中で、遺漏なく迅速に処理をしていった。
(3)(2)を踏まえた今後の課題	
平成31年度も引き続き、遺漏なく迅速に業務をおこなっていきたい。	

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）
	個人情報の漏えい防止や事務の正確性維持のため、一層セキュリティに留意していきたい。
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
	システム操作者へのセキュリティ研修やシステムの対策、ドキュメントの保管・管理に引き続き取り組む。
(3)改革・改善案による期待成果	
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。	

成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。
----	----------	----	-------------